

女性の健康づくり

な ぷ
7月2日は
「ナプちゃんの日」

生理用品の

無料配布



ご来場お待ちしております。

配布日時

7月2日(土) 午前10時~午後4時

配布場所

沖縄タイムスビル1階 ロビー

内容

必要な方に生理用品や失禁用ナプキン及び幼児用パンツをお渡しします。また、女性の健康に関する相談コーナーを設け専門の相談員が対応いたします。

講師

大湾 知子氏

琉球大学医学部保健学科成人がん看護学准教授



主催 / (一社)沖縄県婦人連合会 TEL098-884-5333

共催 / 看護学生支援の輪~つなぐ会 ユニ・チャームメンリック株式会社

助成 / 公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団 協力 / (株)沖縄銀行

後援 / 沖縄県・(株)沖縄タイムス社・(株)琉球新報社・(株)ラジオ沖縄・沖縄テレビ放送(株)

女性の健康づくり

な

ぷ

7月2日は 「ナプちゃんの日」

一般社団法人 沖縄県婦人連合会では生理の尊厳、生理の貧困、生理の負担を社会へ周知し理解を広めるため、7月2日を「ナプちゃんの日」と決めました。女性が心身ともに健康的な社会生活を送ることができるようにすること、またSDGsジェンダー平等を実現するためのステップアップにつなげることを目的としています。

今年は、生理用品（失禁用含）を必要としている約2,000人に対して、無料配布を行います。同時に精神的な不安や負担を改善・解決していくため、相談ブースを設置します。（専門医が無料でご相談に応じます）



生理についてみんなで考えよう

生理は、12歳前後から50歳前後までの間、女性だけにやってきます。

毎月5日間が生理期間だとすると、一生で約2400日以上時間を生理と付き合っていくこととなります。その間の経済的負担、身体的負担、精神的負担は計り知れません。また生理痛など個人差はありますが、多くの女性が経験しており、大きな負担やひとによっては深刻な問題です。

生理中、頻繁に仕事や学校に行けない人もいますし、生理が理由でさまざまな機会を制限されてしまいます。女性が経験する生理の負担は、男性には理解されにくいかもしれません。しかし生理は女性だけの問題ではなく、男性にも理解すべき問題として社会全体で捉える必要があります。

一般社団法人 沖縄県婦人連合会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



な ぶ 7月2日は「ナプちゃんの日」

日時:令和4年7月2日(土) 午前10:00～午後4:00
会場:沖縄タイムスビル1階ロビー

事業実施計画要旨

1. 活動組織・団体名

主催:一般社団法人 沖縄県婦人連合会
共催:看護学生支援の輪「つなぐ会」
助成:公益財団法人 沖縄県保健医療福祉事業団
協賛:ユニチャームメンリッケ(株) 協力:沖縄銀行
後援:沖縄県、沖縄タイムス社、琉球新報社、ラジオ沖縄、沖縄テレビ放送
相談講師:琉球大学医学部成人、がん看護学准教授 大湾知子氏

2. 活動目的

- ・7月2日を「ナプちゃん」の日と定め、生理の尊厳、生理の貧困、生理の負担を社会へ周知し理解を広め、女性が心身ともに健康的な社会生活を送ることが出来るよう支援を行う
- ・顕在化している生理の貧困問題について、生理用品を必要としている女性に対し生理用品(失禁用含)の無償配布を行い、また、精神的な不安や負担を改善解決していく。
- ・生理に対する社会の理解度の低さ、外国に比べて日本の取り組みが遅れている現状を踏まえ継続的な社会活動の取り組みが必要と考え活動を展開
- ・SDGsジェンダー平等の実現するためのステップとする。

3. 対象人数

約2,000人に対し支援を行った

目指す活動

- ・生理の尊厳、生理の貧困によるサポート、専門者への架け橋
- ・生理用品の無償配布等の支援、企業や支援団体、行政との連携
- ・生理の尊厳、生理の貧困、生理の負担を社会へ周知し理解を広める
- ・生理用品の無償化課税廃止、税率軽減等を目指す
- ・小中高校・ほか施設等タトイレトペーパーのように自由に使用できる無償配置

7月2日ナプちゃんの日 生理用品等の配布状況

日時: 令和4年7月2日(土) 午前10時～午後4時
場所: 沖縄タイムスロビー

